

2019年7月吉日

理事長 殿
病院長 殿

公益社団法人 全日本病院協会
会長 猪口 雄二
医療機関トップマネジメント研修事業
担当理事 徳田 禎久

「第14回 医療機関トップマネジメント研修コース」参加のご案内

日頃より、全日本病院協会の活動にご理解とご協力をいただき誠に有難うございます。
さて、当協会では、平成18年度より、会員病院の理事長・院長の方、あるいは将来の理事長・院長候補の方を対象にした「医療機関トップマネジメント研修コース」を開講いたしております。

本研修コースは、当協会が経済産業省の委託事業において開発したトップマネジャー向けの研修用教材とテーマに沿う会員病院での取り組みから作成されたケースを使用し、戦略的・効率的な医療経営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指すものです。

本研修の大きな特徴は、テーマに関して全般的な講義を受けた後、参加者がグループワークで解決方法を考えるケーススタディ形式を行っていることにあります。

講師陣には、ケース作成にかかわり当協会の各委員会でも活動され、医療現場の実情を熟知されている方、経営についての専門家をお迎えいたしております。

第1回から第13回までに、全国各地から計430名のご参加をいただきましたが、医療界では数少ないグループワークによるケーススタディ形式の研修が大変好評でありました。また、各自が自分の考えをまとめる方法を学ぶと共に、他の参加者の考え方や経験を知ることも可能となり、管理者としての経験の浅い方にも有意義な研修であったとのご感想をいただいております。

また、ケースの更新や新しいケースを追加しつつ、参加者の研修の評価も検討しながら、より効果的な質の高い研修会へと進化させております。

つきましては、第14回研修コースについて、別添パンフレットのとおりに企画いたしましたのでご案内申し上げます。なお、かねてより開催のご希望を多くいただきましたことから、本年度は札幌での開催となります。是非ともパンフレットをご高覧いただき、ご参加を検討いただきたくお願い申し上げます。

なお、参加申込は2019年9月6日（金）までとなっております。

本コース開始日（第1単位）は2019年9月21日（土）・22日（日）です。

※受講料金は（公社）全日本病院協会の会員・非会員とも同一です。

【問合せ先・申込先】

公益社団法人 全日本病院協会 事務局

〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町 2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F

TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444

ホームページ <http://www.ajha.or.jp/> メール arikata@ajha.or.jp

第14回 医療機関トップマネジメント研修コース参加のお勧め

公益社団法人 全日本病院協会
会長 猪口雄二

日頃より当協会の活動にご協力ご支援をいただき、誠に有難うございます。

さて、平成30年度診療報酬及び介護報酬の同時改定や医療計画、医療費適正計画、介護保険事業計画の3つの計画、働き方改革を始めとする様々な制度改革等、大きな変革を迎えました。この改革は団塊世代が後期高齢者となる2025年からその先の未来に向け、持続可能な社会保障制度の維持するために実施され、現在政策として進んでいる「地域医療構想」や「地域包括ケアシステム」に寄り添うことは地域に密着した中小病院にとっては極めて重要な問題でございます。

さらに、診療報酬及び介護報酬の同時改定も東の間、2019年10月には消費税増税に伴う診療報酬改定が、2020年には通常の2年に1度の診療報酬改定が行われ、医療情勢はこれまで以上に短期間で大きく変化していくと思われまます。

これらの状況を鑑みますと、各医療機関が今後も存続していくためにどのようにしたらよいか、複数の選択肢の中から自院の方向性を選んでいく、まさに岐路に立っているのではないかと思います。

その一方で、病院の経営環境如何にかかわらず、国民からは、常に安全で質の高い、安心できる医療の提供を求められております。さらに、社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々は環境変化の有無に関わらず、これまで以上に質向上、効率化を図り公共性の高いサービス業として事業を継続していく必要があります。

これらの諸問題に対処するために、トップマネジャーは施設運営に際し、医療実務（専門技術）と経営実務（管理技術）双方を兼ね備えねばなりません。しかし、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、平成18年度より、同事業を通じて作成した研修用教材を使用した研修会を開催致しております。医療界では数少ないケーススタディによる研修会であり、ご参加いただきました皆様よりご好評をいただいております。

本研修では、グループワークを中心に行っております。施設運営の際のモデルとなる民間病院の実例を中心に、効率的、戦略的な医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指します。また、現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々が全国からご参加され、普段では聞くことのできない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。

各医療機関からの積極的なご参加をお願い申し上げます。



受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第14回（2019年度）

医療機関 トップマネジメント 研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

開講期間 2019年9月～12月
全4単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全4単位 本体価格300,000円（税込324,000円）※食事代・懇親会費含む

受講定員 30名

会場 TKPガーデンシティ札幌駅前
〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西2丁目19番
（アパホテル〈TKP札幌駅前〉内）TKP札幌ビル 2階/3階/4階/5階
※全単位同会場での開催となります

申込締切 2019年9月6日（金）

 公益社団法人 全日本病院協会

Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。



第1単位 9月21日(土)13:00~21:00 22日(日)9:00~15:00

(第1日目) オリエンテーション、経営学概論、財務管理 管理会計 (第2日目) 医療概論、医療の質評価、DPCの活用

●講師
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
李 濟民 小樽商科大学大学院商学研究科 教授
石井 孝宜 公認会計士

■概要
＜オリエンテーション＞
ケーススタディー方法論とケース研修の目的を説明する。
＜経営学概論＞
医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による外部環境及び内部資源分析を初め、経営戦略の代表的なツールを理解することで、医療機関が持続的に成長していくための知見を習得する。
＜財務管理、管理会計＞
財務管理に関する基本的な考え方を解説した後、病院における管理会計の基本となる病院会計準則について説明するとともに基本的な病院経営指標の具体的な算式や理解の仕方を明確にする。また、開示されている様々な病院開設主体及び病院の財務情報を確認することによりトップマネジメントとして認識すべき財務の視点を習得する。

■演習
＜経営指標実例の分析・評価＞
演習の形式をとらず、病院及びその開設主体において必要とされる経営指標の内、機能性、収益性、財政状態について理解を深めるため実在する具体例や様々な公表資料を使用し、実務的な活用を可能にするとともに現時点の病院経営評価に役立てられるように解説する。

第1単位 1日目	13:00~14:00	オリエンテーション・ケーススタディー	説明
	14:00~16:20	経営学概論	講義
	16:20~19:10	財務管理・管理会計	講義
	19:10~	懇親会	

●講師
飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長
長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
＜医療概論＞
医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度（医療提供体制と医療保険制度）、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。
＜医療の質評価、DPCの活用＞
急性期病院の包括評価であるDPCでは、標準コードを使用し、電子的に、医療内容を含む情報が利用可能となる。これを用いた医療の質評価の方法について学ぶ。また、DPCの導入により、医療機関の機能分化、外来を含むバスの改訂、検査の絞り込み、ジェネリック薬の導入など医療マネジメント方法は大きく変わった。これについて概観し、課題を明らかにする。

第1単位 2日目	9:00~11:00	医療概論	講義 グループワーク 発表討議
	11:00~15:00	医療の質評価・DPCの活用	講義
			グループワーク
			発表討議

第2単位 10月5日(土)13:00~21:00 6日(日)9:00~15:00

(第1日目) 広報・ブランド管理、医療における総合的質経営 (TQM) 基礎 (第2日目) 医療における総合的質経営 (TQM) 応用

●講師
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長

■概要
＜医療機関のブランド育成と広報＞
医療機関のブランド構築の基礎を事例を交えて説明する。広報に関しては医療広報戦略とともにクライシスコミュニケーションについても解説する。
＜医療における総合的質経営 (基礎)＞
医療への総合的質経営 (TQM) の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。
理念・方針、質管理理論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理 (Quality Management) の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等。

■演習
＜ブランド戦略＞
・ブランド構築の方策
＜広報戦略＞
・危機管理対策のポイント
＜医療における総合的質経営 (基礎)＞
・理念・方針の徹底 ・なぜ質か ・改善の必要性
・トップの役割 ・改善活動の組織化 ・推進方法検討
・組織の活性化 ・(品)質管理 ・総合的質経営

第2単位 1日目	13:00~16:30	広報・ブランド管理	講義 グループワーク 発表討議
	16:30~21:00	TQM基礎	講義
			グループワーク
			発表討議

●講師
飯田 修平 公益財団法人東京都医療保健協会 練馬総合病院 理事長 院長

■概要
＜医療における総合的質経営 (応用)＞
医療への総合的質経営 (TQM) の導入事例 (ケース・スタディ) GWと発表/質疑。

第2単位 2日目	9:00~15:00	TQM応用	講義
			グループワーク
			発表討議

第3単位 11月9日(土)13:00~21:00 10日(日)9:00~15:00

(第1日目) 終末期医療、人事管理 (第2日目) 病床再編、医療連携

●講師
池上 直己 聖路加国際大学公衆衛生院 特任教授

■概要
＜終末期医療＞
ガイドライン等の終末期医療を巡る政策動向を解説し、今後増える死亡退院に備えて、終末期医療の3つの類型に沿って、病院がどのように対応するかを解説する。
＜人事管理＞
人事管理の普遍的課題について解説した後、職員のほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。
■演習
＜終末期医療＞
・ケースにおける終末期医療の対応をもとに、自院における患者・家族への情報提供や判断に参画する方法を検討する。
＜人事管理＞
・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討する。

第3単位 1日目	13:00~16:50	終末期医療	講義 グループワーク 発表討議
	16:50~21:00	人事管理	講義
			グループワーク
			発表討議

■概要
＜病床再編＞
医療計画の歴史的背景から、地域医療構想による病床再編の可能性を解説し、現場・病院としての対応を提示する。
＜医療連携＞
連携は自院・自法人として提供しないと決めた分野について行うので、その対象は自院・自法人における病床・機能再編と表裏一体の関係にある。このような戦略的対応の阻害要因を解説し、対応を解説する。
■演習
＜病床再編と医療連携を一体的に検討＞
・既存病床の転換や連携の新しいあり方について、自院・自法人における経験を踏まえて、ケースにおける対応を検討する。
・診療報酬の改定の動向を踏まえて検討する。
・終末期医療に対する対応も踏まえて検討する。

第3単位 2日目	9:00~15:00	病床再編・医療連携	講義
			グループワーク
			発表討議

第4単位 11月30日(土)13:00~21:00 12月1日(日)9:00~15:00

(第1日目) BSC、病院機能評価 (第2日目) 安全管理、リスク管理

●講師
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授
佐藤 剛 グロービス経営大学院 教授
長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要
＜BSCの解説＞
BSCの概要を説明し、中規模病院でのBSCを用いた院内モチベーションのアップの事例について解説する。ここまで講義して来た経営戦略、ブランド戦略、広報戦略やBSCなどのビジネス手法を如何に活用するかを基本的視点の講演を行う。
＜病院機能評価＞
医療の質と安全への関心とともに、外部評価への関心が高まっている。外部評価には、病院全体を対象にしたものと、一部機能のみを対象にしたものがある。日本医療機能評価機構の行う病院機能評価・認定は前者の代表的なものである。病院機能評価の現況、病院経営における位置づけ、活用について検討する。
■演習
＜BSC＞
BSCの実施方法の習得
・BSCの設計
・運用と進捗状況の把握

第4単位 1日目	13:00~16:30	BSC	講義 グループワーク 発表討議
	16:30~21:00	病院機能評価	講義
			グループワーク
			発表討議

■概要
＜安全管理、リスク管理＞
医療安全は医療の質の最重要の構成要素である。医療安全の考え方を明らかにし、具体的な事例を基にした対応策の検討、院内での体制づくりの方法について検討する。

第4単位 2日目	9:00~11:35	安全管理	講義 グループワーク 発表討議
	12:15~15:00	リスク管理	講義
			グループワーク
			発表討議

第14回(2019年度)

医療機関トップマネジメント研修コース

受講者の声



社会医療法人若竹会
つくばセントラル病院
副院長

金子 剛

「病院」を系統的に学ぶ機会は若手経営者にとって必須だ。本研修は一流講師が厳選したモデルケースをグループワークで学びあうスタイルで、効率的な学びの場だ。まず受講生は全国津々浦々から集まり、「学ばんかな」との意気込みが溢れている。講師陣は病院経営におけるトップリーダーであり、その実践と理論を直接拝聴、質問できる。よく練られた教材は自院での話題提供の骨子となり、それによる再教育の機会は私の血肉となっている。本研修会を通じて、医療情勢に敏感である必要性を痛感するとともに、病院経営の主体者である私の生き方そのものが自院の未来に具現化されることを深く理解した。更なる研鑽の覚悟ができた事は大きな収穫である。



医療法人社団永寿会
天草第一病院
健康管理センター長 常務理事

永野 優子

「医療は特殊である」のか否か、という宿題を考える事からスタートした研修でした。

先生方の情熱を毎回感じながら、講義を受けさせていただきました。医療における総合的質経営に始まり、財務・人事管理、在宅・終末期医療など、多岐にわたる講義内容でした。また、グループワークによるケーススタディ形式の研修は、これまで体験したことのないものでした。医師だけではない様々な立場の参加者と共に、悩みを語り、討論を重ねるうちに、病院の規模により解決すべき具体的な事項は異なっても、病院のトップマネジメントとはどういうものかということについては、共通した想いが必要であることを実感しました。また数年後、自分が更に経験を積み、新たな問題に直面した時に、もう一度参加してみたいと思わせる研修会でした。ありがとうございました。



医療法人回生会
京都回生病院
理事

出射 真由美

数年前まではネイリストとして現場に立ちながらサロンやスクールの経営をしていましたが父からの一言で病院の経営に携わる事となりました。

病院で勤務するようになって分からない事だらけ。

聞いた事もない用語や業務に悪戦苦闘の日々でした。

今回受講する前年にもこの研修に行ってきたほしいと言われましたが、その時はあまりの自信のなさにお断りしました。

しかし今回は一度ちゃんとした場で学んだ方が良くかと思いついて受講し、色々な病院さんのお話しをお聞きできたり、色々な先生方の考え方をお聞きできて大変勉強になりました。

まだまだ学ばなければいけない事は沢山ありますが経営の基本を学べた事は貴重な経験だったと思います。

有り難うございました。



医療法人島本慈愛会
島本病院
院長

丸吉 秀朋

地元の全日病会員の先生方の勧めがあり、病院長就任を契機に受講しました。配布資料と指定図書の前読が必須でしたが、いずれも充実しており毎回届くのが楽しみでした。研修のテーマは多岐にわたり、どれも病院の経営・運営で知るべきものでした。講義で知識を得ることに加え、本研修の特徴とされるグループディスカッションも有益でした。参加された方の立場はさまざまで、幅広い意見交換ができました。時には議論を尽くしても正解を導けない課題もありましたが、それらにこれからどう向き合っていくかが我々に求められる役割なのだと理解しました。結果として私たちが今後取り組むべき課題が多く見付き、充実した研修となりました。また、受講を通じてさまざまな出会いがあり良い刺激になりました。貴重な研修の機会をいただき、ありがとうございました。

第14回 医療機関トップマネジメント研修コース

[受講申込書]

受講者氏名	ふりがな	年齢	印			
	個人のE-mail (必須)					
役職名	左記役職の職歴年数					
病院名						
病院所在地	〒					
	都道府県					
経営主体 (法人名)	TEL () - FAX () -					
種別	一般 () 床	医療療養 () 床	介護療養 () 床	精神 () 床	感染 () 床	結核 () 床

※上記該当欄にご記入の上、下記受講申込先まで郵送またはFAXでお申込みください。

※上記の個人情報については、適切に処理し、本研修の目的以外には使用いたしません。

応募要項

■受講対象

現在、理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方

■受講定員 30名

■受講料金 全4単位 本体価格300,000円(税込324,000円)

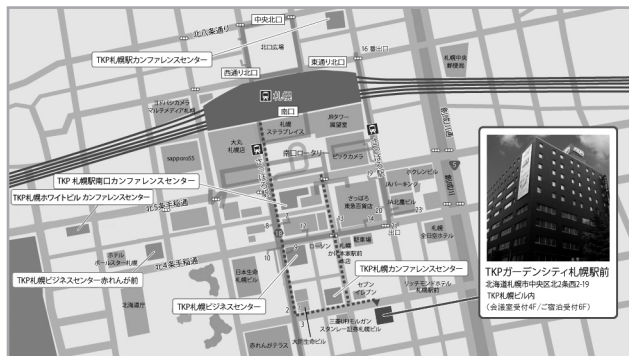
※食事代・懇親会費含む

■申込締切 2019年9月6日(金)

■受講申込・お問合せ先

公益社団法人 全日本病院協会

〒101-8378 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8 住友不動産猿樂町ビル7F
TEL. 03-5283-7441 FAX. 03-5283-7444 MAIL. arikata@ajha.or.jp



■会場 TKPガーデンシティ札幌駅前

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西2丁目19番
(アパホテル〈TKP札幌駅前〉内) TKP札幌ビル 2階/3階/4階/5階

■最寄駅

JR函館本線「札幌」駅南口下車・徒歩5分
札幌市営東西線「大通」駅 札幌駅前通地下歩行空間3番出口 徒歩2分
札幌市営南北線「さっぽろ」駅 札幌駅前通地下歩行空間3番出口 徒歩2分